

2021年 9～11月

# 北海道地方 秋の天候

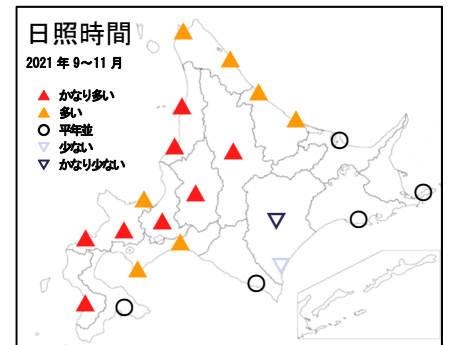
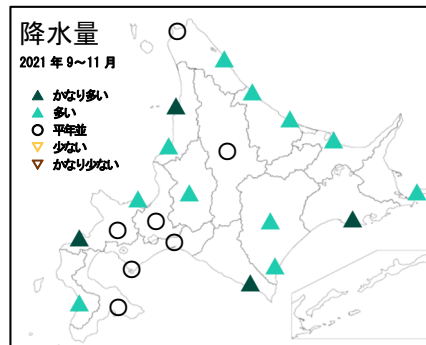
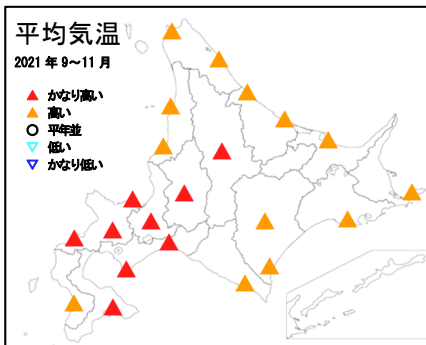
2021年 12月 1日  
札幌管区气象台 気象防災部  
地球環境・海洋課

## 今秋(9～11月)の概況

— 秋の降水量は平年よりかなり多く、10月と11月は記録的な大雨の日も。11月は記録的な高温 —

今秋は、オホーツク海からの冷たい気流や北からの寒気の影響を受けた時期もあったが、後半は低気圧が中国東北区から北海道の北を通過する事が多かったため、南から暖かい空気が入りやすかった。このため、気温は平年より高く、11月の気温は記録的な高温となった。降水量は、9月は日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、平年より少なかったが、10月と11月は、低気圧や前線の影響により雨の日が多く、平年よりかなり多かった。また、記録的な大雨となった所があった。日照時間は、9月は日本海側を中心に平年よりかなり多く、11月は太平洋側を中心に平年よりかなり少なかったが、期間を通すと、平年より多かった。日本海側の降雪量は、寒気の南下が弱かったため、平年よりかなり少なかった。初雪は、10月中旬に大陸から強い寒気が北海道に流れ込んだため、平年より早い所が多かった。

## 階級分布図



## 季節の気候表

9～11月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.7	+	120	+	109	+
日本海側	+0.8	++	112	+	118	++
オホーツク海側	+0.7	+	130	+	106	+
太平洋側	+0.7	+	124	+	100	0

注) ・気候表の数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。  
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 月別の気候表

9月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.1	0	79	-	124	++
日本海側	+0.1	0	71	-	132	++
オホーツク海側	-0.4	0	82	0	120	+
太平洋側	-0.2	0	89	0	117	+

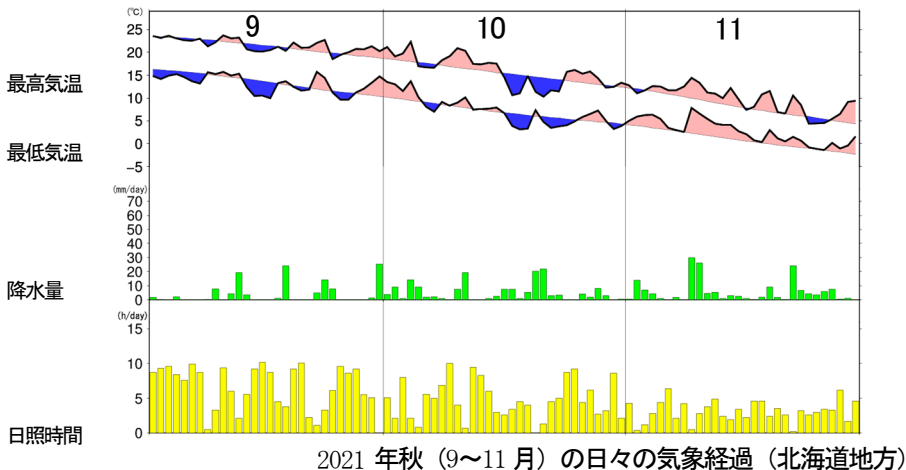
10月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.3	0	138	++	100	0
日本海側	+0.2	0	146	++	104	0
オホーツク海側	+0.4	0	181	++	103	+
太平洋側	+0.3	0	107	0	94	-

11月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.1	++	165	++	99	0
日本海側	+2.1	++	126	+	110	0
オホーツク海側	+2.0	++	145	+	88	-
太平洋側	+2.0	++	224	++	90	-

注) ・数値は、地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

## 気象経過図



### 【気温】

今秋は、北からの冷たい気流や寒気の影響を受けた日もあったが、後半は北海道の北を低気圧が通過する事が多かったため、南から暖かい空気が流れ込みやすかった。秋の平均気温の平年差は+0.7°Cと平年より高かった。特に11月の平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、高い方から第2位の高温となった。

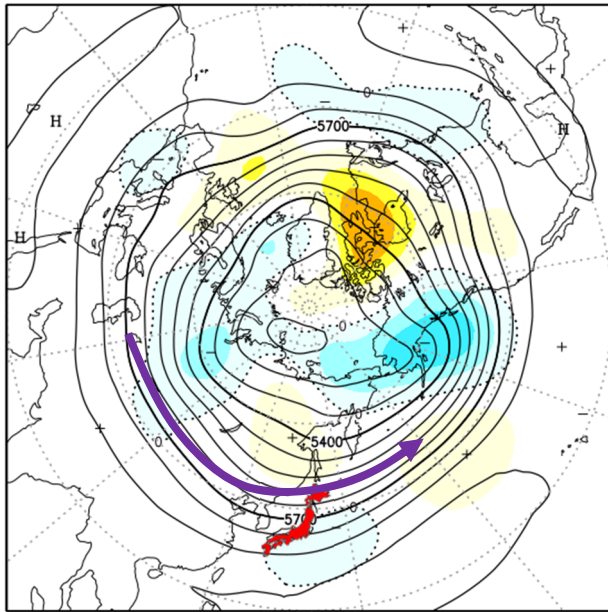
### 【降水量】

9月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、日本海側を中心に少なかったが、10月と11月は低気圧や前線の影響で雨または雪の日が多く、10月は日本海側とオホーツク海側で、11月は太平洋側で平年よりかなり多かった。秋の降水量の平年比は、120%と平年より多かった。

### 【日照時間】

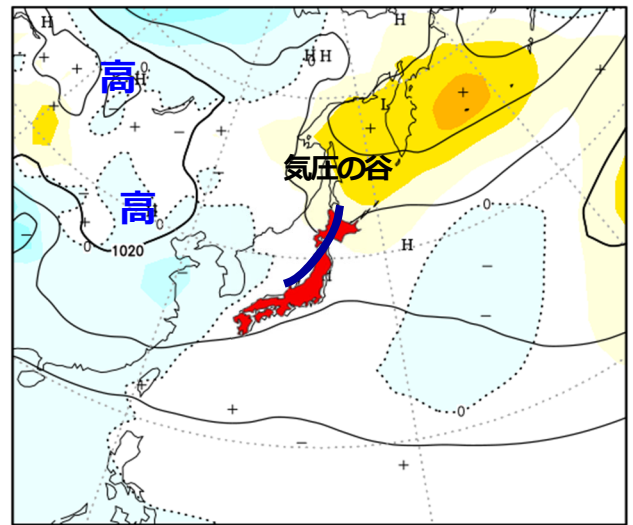
9月は高気圧に覆われて日本海側を中心に平年よりかなり多くなったが、11月は低気圧や前線の影響により、太平洋側を中心に平年よりかなり少なかった。秋の日照時間の平年比は、109%と平年より多かった。

## 秋の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の3か月平均 500hPa 高度と年間偏差  
(年間値は 1991～2020 年の平均値)

実線は 500hPa 高度 (m)、着色は年間偏差 (m)。  
年間偏差が暖(寒)色の領域は年間より高度が高(低)く、一般に暖(寒)気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の3か月平均海面気圧と年間偏差  
(年間値は 1991～2020 年の平均値)

実線は等圧線 (hPa)、点線は年間偏差 (hPa) を示す。年間偏差の暖(寒)色は、年間より気圧が高(低)い領域を示す。寒色の領域では、年間より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

### 500hPa (上空約 5500m) 天気図

偏西風(紫実線)の流れは、年間より北を流れ、日本付近は寒気の南下が弱かった。シベリアからオホーツク海にかけて高度が高く、気圧の尾根となりやすかった。このため、北海道付近は暖かい空気に覆われやすかった。

### 地上天気図

大陸からアリューシャン付近にかけて、年間より気圧が高かった。このため、北海道付近は高気圧に覆われやすかったが、オホーツク海の高気圧から冷たい気流の影響を受けた時期もあった。一方、華中から朝鮮半島付近にかけて、年間より気圧が低かった。また、サハリン南部から北海道付近は気圧の谷(青実線)となっており、北海道付近は低気圧や前線の影響を受けやすい時期があった。

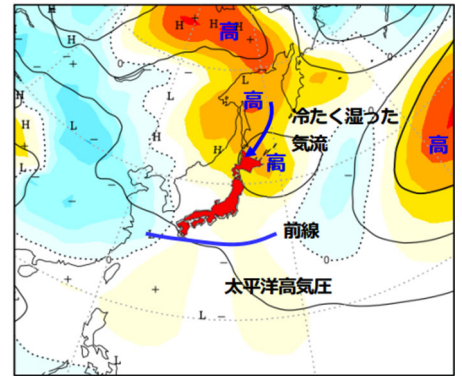
## 月毎の気象

### (1) 9月

— 日本海側は高気圧に覆われやすく少雨・記録的多照。18日は太平洋側で記録的大雨。 —

**気象経過：**この期間の天気は、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わったが、前半を中心に高気圧の張り出しの中となつて晴れた日が多かった。このため、日本海側の月間日照時間の平年比は、1946年の統計開始以降、9月として多い方から第1位の記録となった。一方、低気圧の通過や上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となつて雨の降った日もあった。特に、18日は前線を伴った低気圧の通過により、太平洋側とオホーツク海側を中心に雨が降り、えりも岬で日降水量198.5mmを観測するなど記録的な大雨となった所があった。

**地上天気図：**日本の南では、太平洋高気圧がフィリピン付近へ張り出す一方、東シベリアから北海道付近にかけて高気圧が強かった。このため、2つの高気圧の間の東シナ海から日本の南に前線が停滞しやすく、九州地方を中心に南から湿った気流や台風第14号の影響で大雨となった日があった。北海道付近は、北海道の北や東に中心をもつ高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、オホーツク海側を中心に冷たく湿った気流の影響を受けた時期もあった。



9月の地上天気図

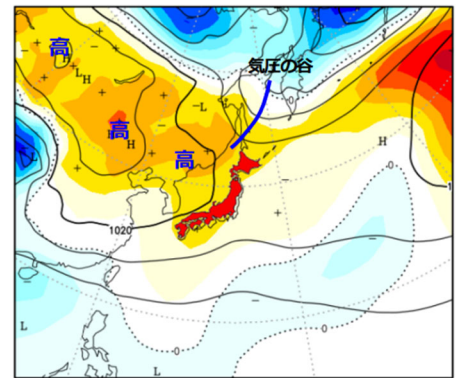
図の見方は秋の地上天気図に同じ

### (2) 10月

— 上旬は記録的な高温、日本海側とオホーツク海側では低気圧や前線の影響で多雨。 —

**気象経過：**この期間の天気は、高気圧と低気圧が交互に通過し天気は短い周期で変わったが、日本海側とオホーツク海側では低気圧や前線の影響で雨の降った日が多く、特に、4日と20日は日本海側で記録的な大雨となった所があった。また、上旬は、暖かい空気が流れ込みやすく気温は平年よりかなり高かったが、17日～23日は、上空約1500mに11月中旬並みの寒気が流入したため気温が急激に下がり、初雪や初冠雪を観測した所もあった。

**地上天気図：**大陸から日本の東にかけて気圧が高く、日本付近は大陸から移動してくる高気圧に覆われやすい時期があった。カムチャツカ半島付近からサハリン南部にかけて、気圧の谷となっており(青実線)、北海道付近は前線や気圧の谷の影響を受けやすい時期があった。



10月の地上天気図

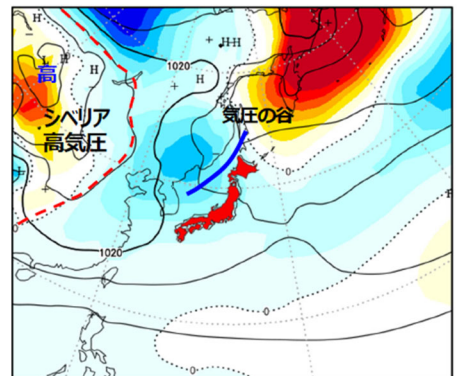
図の見方は秋の地上天気図に同じ

### (3) 11月

— 寒気の南下が弱く記録的高温。上旬は太平洋側で記録的多雨・寡照。下旬は大雪も。 —

**気象経過：**この期間の天気は、期間を通して冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の南下が弱かったため気温の高い日が多く、1946年の統計開始以降、北海道地方の月平均気温の平年差は、11月として高い方から第2位の記録となった。上旬は、低気圧や前線の影響で太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、記録的な大雨となった所があった。中旬は気圧の谷や西高東低の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雨や雪の日が多かった。下旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨が降り、日本海側北部では記録的な大雪となった所もあった。

**地上天気図：**大陸からアリューシャン付近にかけて、平年より気圧が高かった。このため、北海道付近は高気圧に覆われやすかったが、オホーツク海の高気圧から冷たい気流の影響を受けた時期もあった。一方、華中から朝鮮半島付近にかけて、平年より気圧が低かった。また、サハリン南部から北海道付近は気圧の谷(青実線)となっており、北海道付近は低気圧や前線の受けやすい時期があった。



11月の地上天気図

図の見方は秋の地上天気図に同じ

## 地点別気候表 (9~11月)

官署名	気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
稚内	11.8	+1.0	+	376.0	97	0	411.8	114	+
北見枝幸	10.7	+0.8	+	513.0	133	+	420.6	112	+
羽幌	11.5	+0.5	+	615.0	135	++	436.7	124	++
雄武	10.2	+0.6	+	374.0	122	+	433.7	106	+
留萌	11.5	+0.6	+	500.0	120	+	441.6	128	++
旭川	10.2	+0.8	++	381.5	107	0	378.4	112	++
網走	11.1	+0.5	+	325.0	124	+	431.6	98	0
小樽	12.5	+0.9	++	460.5	113	+	420.8	111	+
札幌	12.9	+0.9	++	377.0	103	0	464.5	115	++
岩見沢	11.5	+0.8	++	383.5	103	+	441.5	115	++
帯広	10.8	+0.6	+	343.5	123	+	415.6	88	--
釧路	11.3	+0.6	+	620.5	188	++	501.0	103	0
根室	11.7	+0.5	+	441.0	119	+	456.9	100	0
寿都	12.9	+1.0	++	535.0	126	++	404.1	123	++
室蘭	13.5	+1.0	++	344.0	101	0	458.2	106	+
苫小牧	12.4	+1.0	++	394.0	105	0	460.3	106	+
浦河	12.6	+0.6	+	522.0	151	++	472.4	103	0
江差	14.3	+0.7	+	416.5	116	+	434.5	119	++
函館	13.4	+0.9	++	341.0	93	0	439.8	101	0
倶知安	10.4	+0.7	++	453.0	102	0	396.5	116	++
紋別	10.9	+0.7	+	396.0	141	+	443.4	108	+
広尾	11.6	+0.6	+	672.5	115	+	426.9	95	-

注) ・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「 」付きの値は欠測を含む。「 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

## 今秋に観測された統計開始以来3位までの記録

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
9月	月間日照時間(多い)	第1位	留萌	232.2 h	139 %	214.7 (1988)	1943
			江差	222.6 h	137 %	212.0 (2006)	1941
			倶知安	197.8 h	132 %	192.4 (1956)	1944
		第2位	旭川	190.0 h	131 %	191.5 (1978)	1895
			寿都	215.1 h	140 %	219.5 (1906)	1900
			羽幌	229.7 h	133 %	233.4 (1988)	1921
10月	なし						
11月	月平均気温(高い)	第1位	釧路	6.8 °C	+2.1 °C	6.4 (1990)	1910
			根室	7.5 °C	+1.9 °C	7.4 (1990)	1879
			室蘭	8.7 °C	+2.3 °C	8.7 (2004)	1923
		第2位	広尾	7.2 °C	+2.0 °C	6.9 (2004)	1958
			網走	6.0 °C	+2.0 °C	6.5 (1990)	1889
			小樽	7.0 °C	+2.1 °C	7.1 (1997)	1943
		第3位	札幌	7.3 °C	+2.1 °C	7.5 (1990)	1876
			帯広	5.3 °C	+1.8 °C	5.4 (2004)	1892
			寿都	7.7 °C	+2.1 °C	8.0 (2004)	1884
			苫小牧	7.0 °C	+2.1 °C	7.3 (1990)	1942
			浦河	8.1 °C	+2.0 °C	8.2 (1990)	1927
			江差	9.7 °C	+2.2 °C	9.9 (2004)	1941
			紋別	5.6 °C	+2.0 °C	6.3 (1990)	1956
			稚内	6.1 °C	+2.3 °C	6.4 (1997)	1938
			羽幌	6.4 °C	+2.0 °C	6.8 (2004)	1921
雄武	4.8 °C	+1.9 °C	5.3 (1990)	1942			
留萌	6.4 °C	+2.0 °C	6.9 (2004)	1943			
旭川	4.5 °C	+2.2 °C	4.7 (1997)	1888			

			岩見沢 函館	6.1 °C 8.1 °C	+2.2 °C +2.1 °C	6.5 (1990) 8.3 (2004)	1946 1872
	月降水量(多い)	第1位 第2位 第3位	釧路 広尾 浦河	228.0 mm 342.0 mm 193.0 mm	352 % 268 % 231 %	200.5 (1977) 359.5 (1990) 213.5 (1979)	1910 1958 1927
	月間日照時間(少ない)	第2位	広尾	112.0 h	75 %	111.5 (1964)	1958
9-11月	秋の平均気温(高い)	第2位	稚内	11.8 °C	+1.0 °C	12.2 (1990)	1938
		第3位	寿都	12.9 °C	+1.0 °C	13.4 (2012)	1884
			室蘭	13.5 °C	+1.0 °C	14.0 (2012)	1923
			苫小牧	12.4 °C	+1.0 °C	13.1 (2012)	1942
			函館	13.4 °C	+0.9 °C	14.1 (2012)	1872
		秋の降水量(多い)	第1位	釧路	620.5 mm	188 %	597.0 (1972)
	秋の日照時間(多い)	第1位	留萌	441.6 h	128 %	437.8 (1982)	1943



# 寒候期現象の初日

## 霜、結氷の初日と初雪、初冠雪の観測日

官署名	霜			結氷			初雪			初冠雪			
	初日	平年差	昨年差	初日	平年差	昨年差	初日	平年差	昨年差	初日	平年差	昨年差	
稚内		×	×	11月21日	16日遅	11日遅	10月17日	2日早	17日早	10月7日	4日遅	同じ	利尻山
北見枝幸	—	—	—	—	—	—	10月17日	11日早	17日早	—	—	—	—
羽幌	—	—	—	—	—	—	10月18日	9日早	16日早	—	—	—	—
雄武	—	—	—	—	—	—	10月17日	10日早	17日早	—	—	—	—
留萌	—	—	—	—	—	—	10月17日	8日早	17日早	—	—	—	—
旭川	10月19日	10日遅	2日早	10月19日	1日遅	2日早	10月17日	2日早	18日早	10月6日	11日遅	10日遅	旭岳
網走	10月17日	9日早	24日早	11月8日	9日遅	2日早	10月17日	13日早	18日早	10月7日	7日早	22日早	斜里岳
小樽	—	—	—	—	—	—	10月17日	14日早	17日早	—	—	—	—
札幌	10月24日	1日早	3日遅	11月18日	21日遅	28日遅	11月19日@	18日遅	15日遅	10月17日	1日早	2日遅	手稲山
岩見沢	—	—	—	—	—	—	10月17日	13日早	18日早	—	—	—	—
帯広	10月17日	6日遅	1日遅	10月17日	2日遅	1日遅	11月14日	13日遅	10日遅	—	—	—	—
釧路	10月19日	1日早	3日遅	10月19日	3日早	21日早	11月22日	15日遅	13日遅	10月17日	同じ	12日早	雌阿寒岳
根室	—	—	—	—	—	—	11月23日	17日遅	14日遅	—	—	—	—
寿都	—	—	—	—	—	—	10月17日	11日早	17日早	—	—	—	—
室蘭	—	—	—	—	—	—	11月16日	14日遅	12日遅	11月20日	20日遅	16日遅	鷲別山
苫小牧	—	—	—	—	—	—	10月18日	15日早	17日早	—	—	—	—
浦河	—	—	—	—	—	—	11月23日	19日遅	19日遅	—	—	—	—
江差	—	—	—	—	—	—	11月23日	19日遅	19日遅	—	—	—	—
函館	10月30日	8日遅	14日遅	11月18日	16日遅	8日遅	11月21日	20日遅	17日遅	10月17日	12日早	8日早	横津岳
倶知安	—	—	—	—	—	—	10月17日	3日早	13日早	—	—	—	—
紋別	—	—	—	—	—	—	10月17日	10日早	18日早	—	—	—	—
広尾	—	—	—	—	—	—	11月16日	11日遅	12日遅	—	—	—	—

注) ・×は欠測、\*は統計切断、—は統計していない項目、空欄は未観測を表す。  
 ・@は目視による観測であることを示す。

## 今秋に発表した天候に関わる気象情報\*

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想されるときなどに発表する情報を指します。

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課

TEL (011) 611-6174